

[Abstract]

[Purpose]

To make a telephone provide acoustic sounds as BGM to the other party through an external line during a communication in order to have a conversation under comfortable atmosphere, and avoid the BGM from being monotonous by increasing the kinds of the acoustic sounds and changing the sounds for each call and during the call.

[Structure]

The present invention is structured in such a manner that an audio apparatus such as a CD player 5 is connected to an external input/output terminal 4 of a parent unit 2, an ON signal for power-up is sent to the CD player 5 so as to start up the same when a connection for communication with an external line is established, and then acoustic sounds are provided to the external line through the parent unit 2.

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-11041

(43) 公開日 平成7年(1995)2月14日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
H 04 M 1/00  
1/21

識別記号 U 7406-5K  
府内整理番号 F

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全2頁)

(21) 出願番号 実開平5-39506

(22) 出願日 平成5年(1993)7月20日

(71) 出願人 000201113

船井電機株式会社

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

(72) 考案者 西村 正義

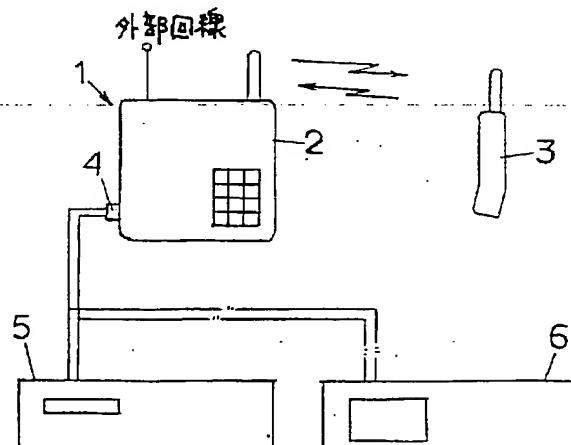
大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井  
電機株式会社内

(54) 【考案の名称】 電話機

(57) 【要約】

【目的】 電話機において、通話中に外部回線を通して相手方に対しBGMとしての音響音を流して快適な雰囲気で会話ができるようになると共に、この音響音の種類を豊富にして通話ごとに、また通話中に種類を変えることによってBGMが単調となることを防ぐ。

【構成】 親機2の外部入出力端子4にCDプレーヤ5等のオーディオ機器を接続し、外部回線との通話接続時にCDプレーヤ5に電源投入用のON信号を送って作動させ、音響音を親機2を通して外部回線に流すように構成する。



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 親機または電話機本体と子機またはハンドセットとを有し、かつ親機または電話機本体に該親機または電話機本体とは独立した外部オーディオ機器が接続されていると共に、少なくとも親機または電話機本体に、外部回線との通話接続時に上記オーディオ機器を作動させて外部回線に該親機または電話機本体を介して音響音を送り出す制御手段が設けられていることを特徴とする電話機。

## 【図面の簡単な説明】

\*10

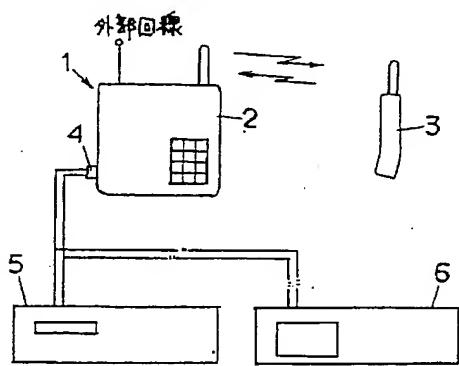
\*【図1】 本考案の実施例にかかる電話機の構成図。

【図2】 上記電話機の制御回路図。

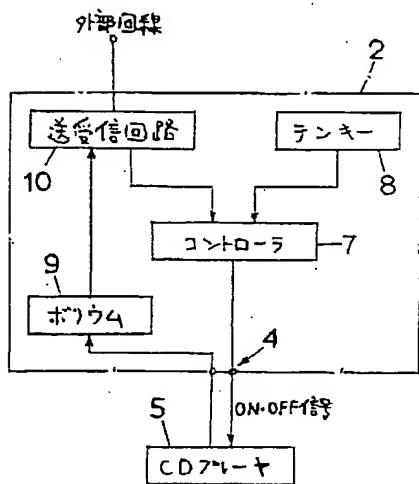
## 【符号の説明】

1	コードレス電話機
2	親機
3	子機
5	CDプレーヤ
6	カセットデッキ
7	コントローラ

【図1】



【図2】



## 【考案の詳細な説明】

## 【0001】

## 【産業上の利用分野】

本考案は電話機に関し、詳しくは通話中の雰囲気向上を図ることができる電話機に関する。

## 【0002】

## 【従来の技術】

近年、電話機においては該電話機に各種の付加的な機能を与えることが行なわれている。たとえば実開平4-48746号公報には、電話機にメロディ音発生手段を設け、外部回線保留時にこのメロディ音発生手段により発生させたメロディ音を外部回線に送り出す技術が開示されている。このような電話機によれば、外部回線保留時に相手方に対し快適な音楽を流すことができて、通話中断中の相手方の気分をまぎらわせることができる。

## 【0003】

## 【考案が解決しようとする課題】

ところで、上記のようなメロディ音発生手段を備えた電話機は通話中断を音楽によって埋めることができても、通話中に音楽を送り出すことができないと共に、メロディ音発生手段によって作り出される曲目が限定されることになって、相手方はいつも同じメロディを聞くことになるから単調となる難点がある。

## 【0004】

そこで本考案は、通話中にも音楽を流すことができると共に、曲目に多様さをもたせることができるように電話機の提供を目的とする。

## 【0005】

## 【課題を解決するための手段】

すなわち本考案は、親機または電話機本体と子機またはハンドセットとを有し、かつ親機または電話機本体に該親機または電話機本体とは独立した外部オーディオ機器が接続されていると共に、少なくとも親機または電話機本体に、外部回線との通話接続時に上記オーディオ機器を作動させて外部回線に該親機または電話機本体を介して音響音を送り出す制御手段が設けられていることを特徴とする

## 【0006】

## 【作用】

上記の構成によれば、親機または電話機本体に外部回線が接続されると、外部オーディオ機器が作動されて該親機または電話機本体を通して外部回線に音楽などの耳障りのよい音響音がながされることになる。そして、その場合、オーディオ機器に多数曲の音響音を内蔵させておくことによって、通話途中や、通話のたびに音響音の種類を変えることができる。

## 【0007】

## 【実施例】

以下、本考案の実施例を図面に基づき説明する。

## 【0008】

図1はコードレス電話機1を示し、外部回線に直接接続された親機2と、無線によって親機2を通して外部回線に接続される子機3とを有すると共に、親機1の外部入出力端子4にCDプレーヤ5や、カセットデッキ6のような独立した外部のオーディオ機器が接続される。

## 【0009】

一方、電話機内部の制御回路には図2に示すように、コントローラ7が設けられ、このコントローラ7が、相手方から呼び出しがあった場合には外部回線から呼び出し信号が入力されたとき、また反対に相手方を呼び出す場合は、たとえばテンキー8によるキー操作に連動して、外部入出力端子4を通して上記のCDプレーヤ5等にON信号(CDプレーヤ5にPLAYモードで電源を投入するための信号)を送って該CDプレーヤ5を作動させ、このCDプレーヤ5に収められている音楽を外部入出力端子4から取込み、かつ外部入力用のボリューム9によって音量調整したのち送受話回路10から外部回線に送り出すようになされており、また通話終了によってCDプレーヤ5をOFFさせる。

## 【0010】

なお、上記CDプレーヤ5等のオーディオ機器のON・OFFは上記のように呼び出し信号ならびにキー操作や通話終了信号の取出しによって自動的に行なつ

てもよいが、親機2または子機3、もしくは両機2, 3に専用のBGMスイッチを設けて、該スイッチで人為的にON・OFFさせるようにもよく、さらにコードレスでない電話機つまり、電話機本体とそれにコード接続されたハンドセットの場合はフックスイッチのON・OFFに連動させることもできるのであって、特に限定されるものではない。また、オーディオ機器によって流す音響は音楽に限定されず、通話の妨げとならない耳障りのよい音響であればよい。さらに、子機3側に上記BGMスイッチを設けたときは、このスイッチ操作によって親機2に無線で信号が送られてコントローラ7がオーディオ機器を制御するように構成されることはもちろんである。

#### 【0011】

このような電話機1によれば、通話中にもBGMとしての音響音が常に通話相手に流されるので、快適な雰囲気のなかで会話することができる。しかも、BGM用として、電話機1から独立した、かつ専用のオーディオ機器を使用するので多数曲の音楽を用意して流すことができ、通話のたびにBGMの音楽を変えたり、また通話中に曲目を変えることもできるので、曲目が一定することによる単調さをなくせるメリットがある。

#### 【0012】

なお、留守番電話機能をもった電話機の場合、呼び出し信号の受信によって親機2が内蔵するテープレコーダが作動するときに、上記のオーディオ機器を同時に作動させてBGMを流せばよい。

#### 【0013】

##### 【考案の効果】

以上の記載によって明らかかなように、本考案によれば、親機に外部回線が接続されて通話状態となると、外部のオーディオ機器が作動されて該親機を通して通話中の相手方に音楽が流されるので、快適な雰囲気で会話することができる。そして、その場合、音響音を流す機器として電話機とは独立した、かつ専用のオーディオ機器を使用するから、該オーディオ機器に多数種の音響音を内蔵させておくことによって、通話途中や、通話のたびに音響音の種類を変えて単調さを消すことができる。